

## 22年度事業の承認、有意義な研修を実施

府市町村保健師協議会総会・研修会



府市町村保健師協議会総会・研修会は、5月13、14日の両日、府国保連合会で開催され、およそ90人の保健師が集まった。京田辺市子ども福祉課の西川会長が開会挨拶をし、京都大学医学部公衆衛生学教授である中原顧問、来賓からは京都府の川野健康対策課長がそれぞれ挨拶をした。

総会では、平成21年度事業報告、同決算報告、役員改選案、平成22年度事業計画案、同予算案について説明し、原案どおり可決・承認された。

研修会の講演は、京都少年鑑別所の法務技官・精神科医である定本ゆきこ氏が、「子どもたちがよりよく思春期を乗り越えていけるために～子どもの発達段階に応じた指導と家族支援のあり方～」と題して行った。



2日目午前は、「地域の健康を守る取り組み～危機管理の取り組みから考える～」というテーマで、明石市（保険・健康部）健康推進課長の佐野洋子氏及び明石健康福祉事務所専門員の高田晴美氏が講演し、内容を踏まえてグループワークを行った。



午後は仕事場D・A・N主宰団士郎氏が「今、家族について知っておかなければならないこと～対人援助技術の実際～」と題して講演した。